The Method Files

ルシファー

星と堕落



歴史・象徴・現代の実践

themethodfiles.com

日本語版

ルシファー

星と堕落

登録不要で読める、書籍全体からの抜粋です。原版の構成とページ番号を保ち、本文を日本語に訳しています。

序論、歴史を扱う一節、読解演習、一つの実践の全体、そして内容を位置づける参考資料を収めています。ページ番号が飛ぶのは抜粋のためであり、ページの欠落ではありません。

歴史
名前と光

読解演習
文の中で言葉を読む

現代の実践を全体で読む
光を運ぶ者への挨拶

本書の別の箇所への参照は、書籍全体を対象としています。この試し読みのページは原版の順序に従っています。PDF閲覧ソフトのしおりで各箇所へ移動できます。

本書の読み方

ルシファーの歴史と象徴、そして契約を含む、ルシファーに捧げる11の独自の儀式を扱います。全体を順に読むことも、必要な実践に戻ることもできます。

まず、知る

初めの各章では、名前の由来、グリモワールの記述、印章の見分け方を説明します。ルシファーは、どの書物にも同じ姿で登場するわけではありません。その違いを知ることで、ほかの存在との混同を避けられます。

次に、実践する

各儀式には、目的、簡単な用具、読み上げる言葉、別れの挨拶があります。始める前に、必ず手順を最後まで読んでください。すべての儀式を行う必要も、関与を段階的に深める順序に従う必要もありません。

読んでいる文章の種類

「歴史資料」は典拠を特定し、「後世の受容」は新たな読み方を位置づけます。現代の儀式実践は、具体的な先行例を踏まえてThe Method Filesが独自に構成したものです。

実践の範囲

11の儀式は独自に組み立てたもので、古い儀礼に手を加えたものではありません。血液、供犠、危害を必要とする手順は扱いません。他者を支配するための実践も提供しません。信仰は信仰として提示します。どの儀式も、存在の出現や超自然的な結果を保証するものではありません。

本文と画像

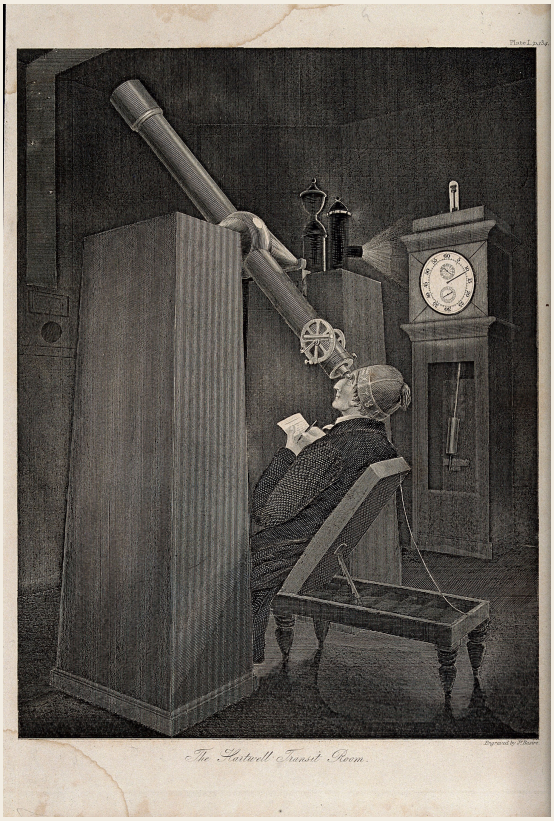
本文には、出典を示した複製画像と、現代の作成物であることを明示した図を収録しています。クレジットでは、画像の出所と読解における役割を区別しています。

© The Method Files, 2026。本文と現代の実践はThe Method Filesによるものです。掲載した作品の作者表記と利用条件は維持しています。表紙：人工知能の支援を用いて制作した現代のイラスト。

名前と光

歴史資料

Luciferは「光を運ぶ者」を意味します。その歴史は、天使や霊についての物語に登場するより前、夜明けの空から始まります。



明けの明星

古代ローマでは、日の出前に見える金星をLuciferと呼ぶことがありました。キケロは『神々の本性について』（De natura deorum）でこの用法を記しています。この惑星が日没後に現れるときには、別の名前で呼ばれました。

ギリシア語の名前

同じ箇所でキケロは、Luciferを、光を運ぶ者を意味するギリシア語の名前Phosphorosと結びつけています。Eosphorosも近い意味を持ち、「暁を運ぶ者」を表します。言葉同士につながりがあっても、それらについて語られたすべての物語が同じになるわけではありません。

読者にとって何が変わるか

ラテン語の文章で「lucifer」を見つけたら、まず何を描写しているのかを確認しましょう。グリモワールに登場する存在ではなく、星について述べている場合があります。

キケロ『神々の本性について』II, 20, 53・Wellcome、46262i

ジェームズ・ベイサイアー「ハートウェルの子午線観測室」。版画。資料情報に制作年の記載なし。Wellcome Collection、46262i。Public Domain Mark。金星の観測であり、儀式の場面ではありません。

名前から文脈へ

この複製図は、金星を観測する場所を記録しています。本章では、名前を天文学の文脈に位置づけるために用いています。この図から儀式の日程を導き出すことはできません。自分なりの象徴的なつながりを提案する前に、この図の役割とキケロの一節の役割を比較してください。

文の中で言葉を読む

単独では見慣れた言葉でも、文の中では予想外の役割を果たすことがあります。この演習では、名前を人物像、教義、実践と結びつける前に、その名前を文脈へ戻します。

「名前と光」で引用されたキケロの一節を使います。著者、作品名、巻、節を記録してください。次に、翻訳されている語と、その語が指す対象を特定します。翻訳を使う場合は、訳者も確認してください。翻訳で読んだ内容と、ラテン語についての自分の観察を、ノートの中で区別する必要があります。

「Luciferは天文学に属する」という要約をすべての作品に当てはめるなら、範囲が広すぎます。「この一節では、その名前は夜明け前の金星を指して使われている」とすれば、より正確です。後者は、根拠が支える範囲に主張を限定しています。後世の用法を否定するのではなく、それらを調べる前に持ち込むことを避けています。

同じ一節について、二つの要約を書いてください。一つ目では意図的に一般化し、二つ目には必要な限定を加えます。両者の違いに下線を引きましょう。修正によって、参照した抜粋が示していない日付、著者の意図、儀式との関係を付け加えていないか確認してください。

The Method Files独自の演習です。この用紙、または自分のノートに回答できます。

範囲が広すぎる要約

一節の内容に範囲を限定した要約

光を運ぶ者への挨拶

儀式01・現代の儀式実践

挨拶によって、ルシファーに祈りを捧げる時間を開きます。恩恵の願いも、その後の約束も含みません。

所要時間の目安

10分

用意するもの

この文章とノート。希望する場合は、星の画像。

事前の見通し

挨拶を選ぶ理由、予定する10分間、沈黙の中で何を観察すると予想しているかを記録してください。

始める前に

落ち着いて過ごせる時間を選びます。夜明けは光のモチーフに添うものですが、必須の時刻ではありません。始める前に、別れの言葉にも目を通してください。

開式・声に出して唱える言葉

ルシファー、光を運ぶ者よ、あなたにこの挨拶を捧げます。暁を告げる名を前に、祈りを捧げるこの時間を開きます。私が口にする言葉を、そのままお受け取りください。あなたの名によって、ほかの存在を呼びはしません。私はこの本の前にとどまり、光と沈黙に心を向け、しるしを要求しません。

The Method Filesによる独自の創作。「11の儀式の出典」を参照。

光を運ぶ者への挨拶

儀式01 · 手順と記録

01 · 自分の名前を言う

座るか立つかして、本の前に身を置きます。自分の名前を言ってください。続いて「この時間を、光を運ぶ者ルシファーに捧げます」と言います。短く間を置きます。

02 · 挨拶を唱える

この儀式の開式の節にある文章を、自然な声で一度読みます。繰り返したり、声を大きくしたりする必要はありません。

03 · 静かに過ごす

数分間、図版を見るか、本に注意を向け続けます。普段どおりに呼吸してください。考えが浮かんだら、後で書き留めても構いません。それをメッセージに仕立てる必要はありません。

04 · 別れを告げる

「ルシファー、私の挨拶は述べ終えました。祈りを捧げるこの時間を閉じます。儀式はここで終わります」と言います。本を閉じ、火を使っていればすべて消してください。

05 · 起きたことを記録する

日付、かかった時間、観察したことを書きます。特に何もなかった場合は、そのまま書くだけで十分です。

実施の記録

文章をはっきり唱えられたか。沈黙の間に何を観察したか。儀式はどのように終わったか。実際に行ったことを事前の見通しと比べ、変更があればすべて記録します。

この儀式は一度きりの行為で構いません。その後の契約や献身の表明は必要ありません。

十分に行えた実践を認める

挨拶の結果は、特別なものである必要はありません。読む時間を設けて挨拶を述べることが目的なら、特別な感覚が生じなくても、その回の実践は完了し得ます。後から加えた目標で評価すると、最初の基準を変えることになります。

「10分間を確保し、挨拶を読み、静かに過ごして、本を閉じた。特に何も感じなかった」という架空の記録を考えます。この記録から、選んだ行動を確認できます。「したがって、徴を得るまで繰り返さなければならない」という文は、準備にはなかった条件を持ち込んでいます。

実践を見直すには、意図と実施内容を比べます。はっきり読めたか、時間は適切だったか、終わりが明確だったかを確かめてください。こうした観察は、今後の実践を調整する助けになりますが、続けることや、体験がなかったことを自分の失敗と捉えることを求めるものではありません。

活動を終え、特別な出来事はなかったという架空の記録を五行で書きます。その活動の繰り返しに依存しない、翌日の判断も一つ加えてください。出典に戻る、参考資料を整理する、しばらくその話題から離れる、といったものです。この課題では、実際に自分で行うと決めたことを基準に、十分な終わりを認めることを学びます。

The Method Files独自の演習です。この用紙、または自分のノートに回答できます。

意図と実際に行った行動

実践を終えたと判断する基準

11の儀式の出典

すべての手順とスペイン語の定型句は、The Method Filesのオリジナルです。先行例はモチーフの由来を示すものであり、これらの実践を古い儀礼に変えるものではありません。

儀式	先行例と本書が加えたもの
01 · 挨拶	キケロ II, 20, 53：光を運ぶ者。オリジナルの信仰的な挨拶。
02 · 呼びかけと願い	『ヴェルム』：呼びかけの文脈。願いの言葉と手順は新たな創作。
03 · 献身の宣言	本書で提案する厳粛な言葉と、自ら期限を決める任意の約束。
04 · 契約	『グラン・グリモワール』との対比。ルシファーへ向けたオリジナルの提案。期間は28日間、実施は4回。
05 · 知識	光のモチーフ。一つの問いを読み解き、確かめるためのオリジナルの儀式。
06 · 自ら決める言葉	『ヴェルム』の皇帝の位階をモチーフとする。自分の行為の範囲を定める、現代の儀式実践。
07 · 夜の実践	休息前の信仰的な創作。『アブラメリン』の幻視を再現するものではない。

歴史資料

使用した箇所と比較した史料。引用ページは、本書と明記する場合を除き、それぞれのデジタル版のものです。

キケロ · De natura deorum

II, 20, 53。夜明け前の金星。LacusCurtiusに掲載されたH. Rackham訳。

資料を参照する

聖書の本文

イザヤ書14:4、12–15。USCCBの文脈説明と注。『Nova Vulgata』におけるラテン語luciferの用法。

資料を参照する

Nova Vulgata

イザヤ書14:12。落ちた明けの明星についての箇所にあるラテン語の呼称。

資料を参照する

Nova Vulgata · ペトロの手紙二

1:19。キリスト教の文脈における、光に関わるluciferの用法。

資料を参照する

オリゲネス · De principiis

I, 5, 5。イザヤ書とルカによる福音書のキリスト教的読解。New Adventのデジタル版。

資料を参照する

ミルトン · Paradise Lost

第一巻と第九巻：堕落と誘惑。第十二巻：エデンからの追放。Project Gutenberg、作品番号26。

資料を参照する

Grimorium Verum

J. H. Petersonによるデジタル版。位階、図形記号、用具や材料、召喚文、退去の言葉。Arsenal MS 2795への参照を含む。

アーカイブ版を参照する

Abramelin · Mathers、1898年

II, XIV–XVおよびXIX：君主たち。III, III, 2：LUCIFERの文字方陣。Esoteric Archives。

アーカイブ版を参照する

Le Grand Grimoire

Renault、パリ、1845年。Petersonによる翻刻。第二の書：ルキフゲとの契約。別の本文単位：Centum Regnum。

アーカイブ版を参照する

Grimoire du Pape Honorius

1760年の出版事項を伴って伝わる版。Petersonによる比較。一週間の系列、pp. 34–42。

アーカイブ版を参照する

Wellcome Collection · MS.983

L’art magique。目録とデジタル化資料。1709年という年代の読みは、留保を付けて提案されている。

資料を参照する

Trithemius · Steganographia

第一巻、Dorothielへの召喚文。『ヴェルム』のルシファーへの呼びかけとの並行関係をPetersonが指摘している。

アーカイブ版を参照する

ルシファー

星と堕落

この先も読み進められます。

書籍全体は113ページで、読解演習と11の現代の儀式実践を、出典および参考資料とともに収めています。

実践を行わずに、歴史をたどる部分だけを読むこともできます。実践に取り組む場合は、現代に構成されたものと明示された内容を、準備、手順、終結とともに読むことができます。

PDF形式の電子書籍の日本語版です。個別指導やTMFの講座へのアクセスは含まれません。演習の解答はノートに書くか、PDF閲覧ソフトの注釈機能で記入します。

書籍全体を見る

日本語版：ｌｕｃｉｆｅｒ